

令和4年度水稻害虫トラップ情報（7月上旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 予察灯

第1世代成虫の誘殺時期は平年よりやや早く、誘殺数は青森、木造、八戸のいずれも平年よりやや多く推移している。

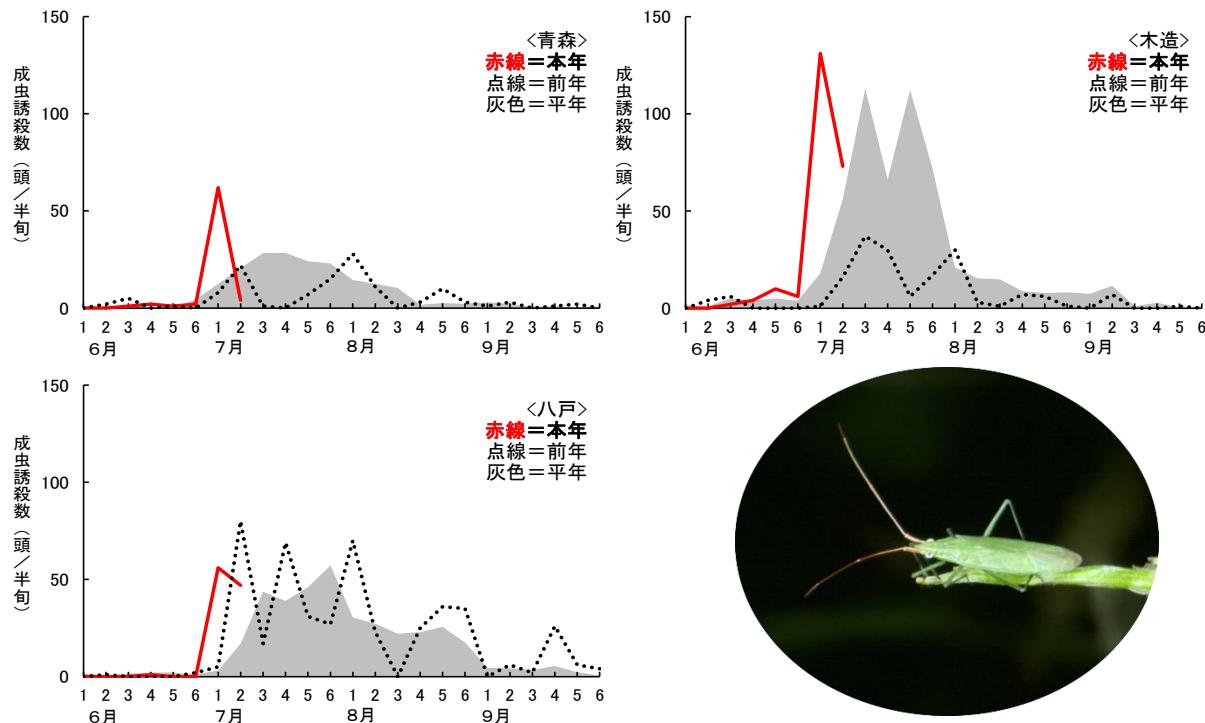


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畠畔】

第1世代成虫の誘殺時期は平年よりやや早く、誘殺数は青森及び七戸で平年より多く、木造及び十和田で平年よりやや多く、鶴田及び八戸で平年並～平年よりやや少なく推移している。

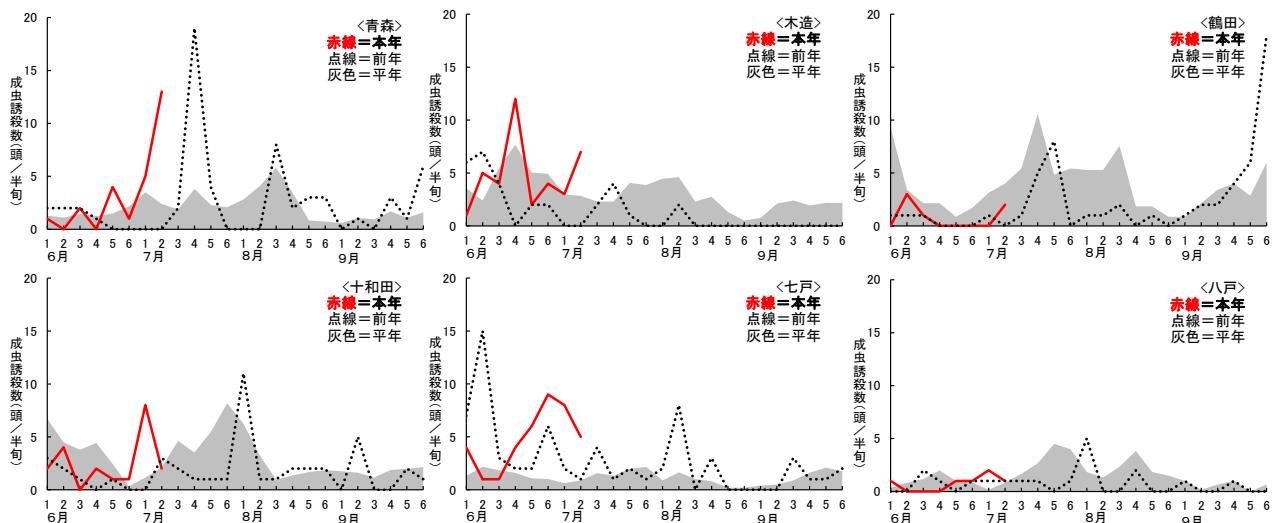


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

注) 年平均は、青森・十和田・七戸・木造が過去10か年、鶴田が過去7か年、八戸が前6か年の平均値。

2 アカスジカスミカメ

(1) 予察灯

越冬世代成虫の誘殺時期は概ね平年並であり、誘殺数は青森及び木造で平年より多く、八戸では平年並に推移している。

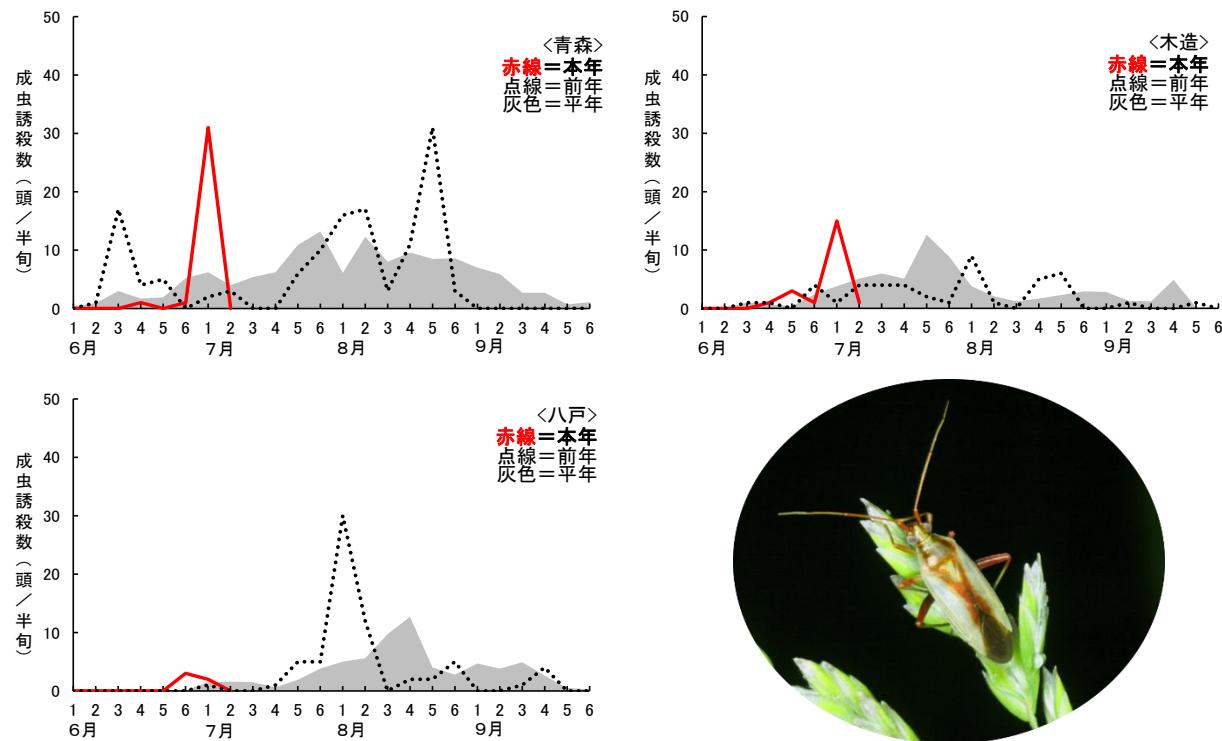


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

越冬世代成虫の誘殺時期は概ね平年並であり、誘殺数は津軽地域で平年より多く、県南地域では平年よりやや少なく推移している。なお、七戸及び八戸では、フェロモントラップによる誘殺が認められていない（7月2半旬現在）。

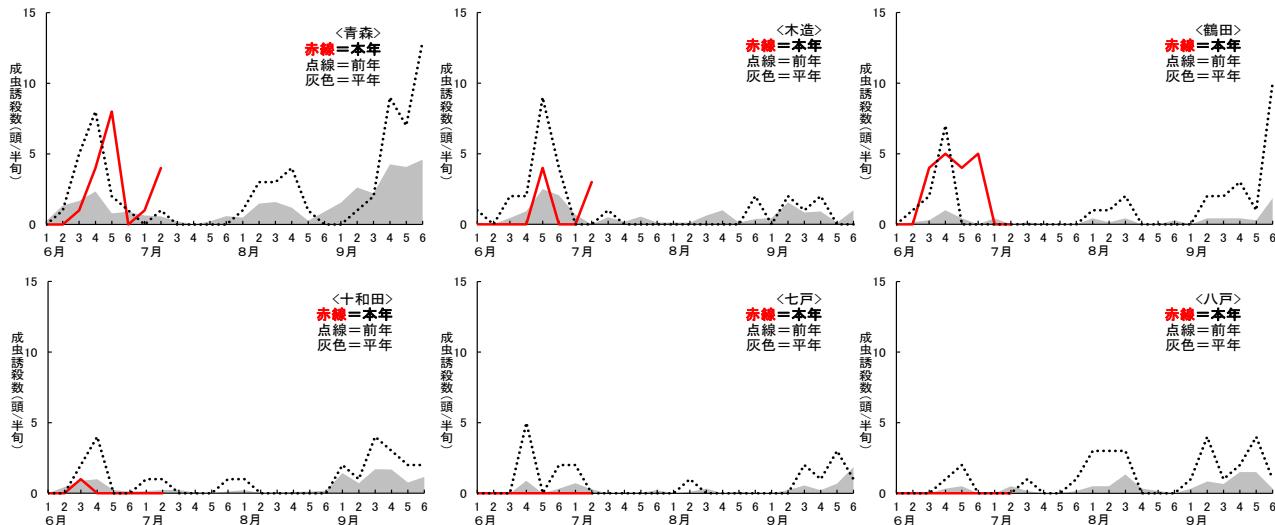


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

注) 平年値は、青森・十和田・七戸が過去9か年、木造が過去8か年、鶴田が過去7か年、八戸が過去6か年の平均値。

3 フタオビコヤガ

(1) 予察灯

第1世代成虫の誘殺は6月中旬～7月上旬に見られ、誘殺数は青森、木造、八戸のいずれも平年並に推移している。

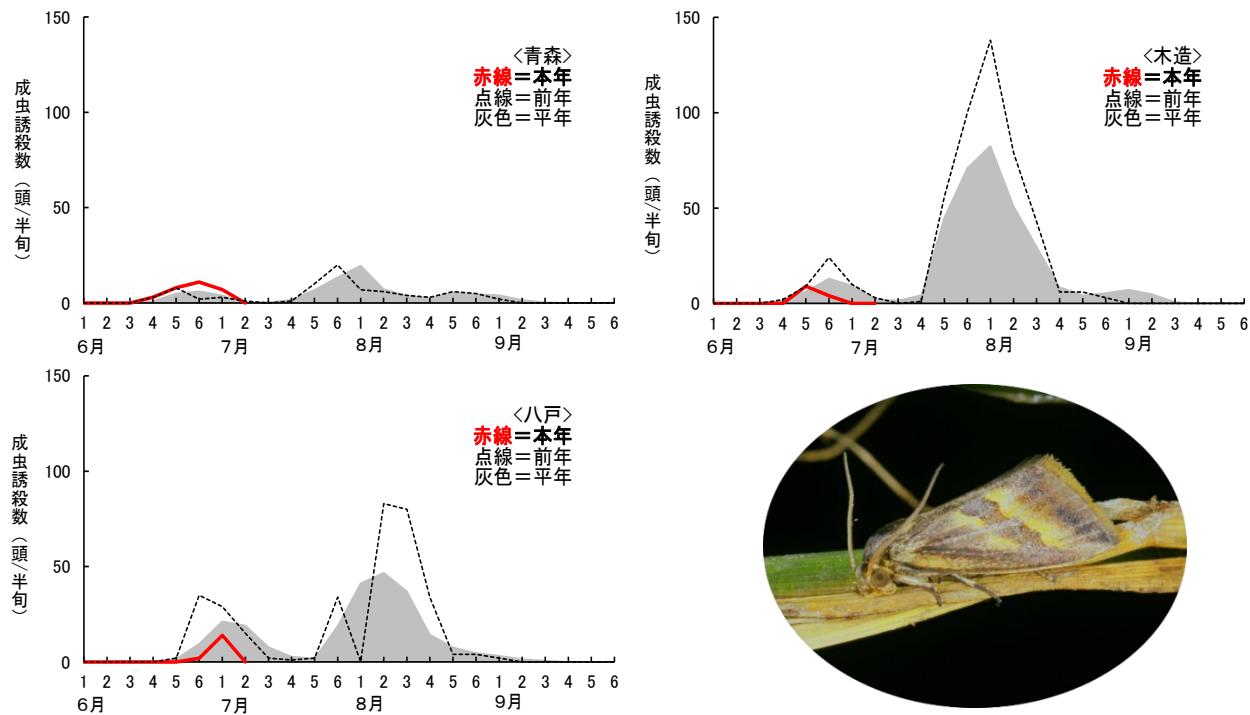


図5 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数



(2) 性フェロモントラップ【畠畔】

第1世代成虫の誘殺時期は6月中旬～7月上旬に見られ、誘殺数は青森、木造、鶴田、十和田、七戸、八戸のいずれも平年並に推移している。

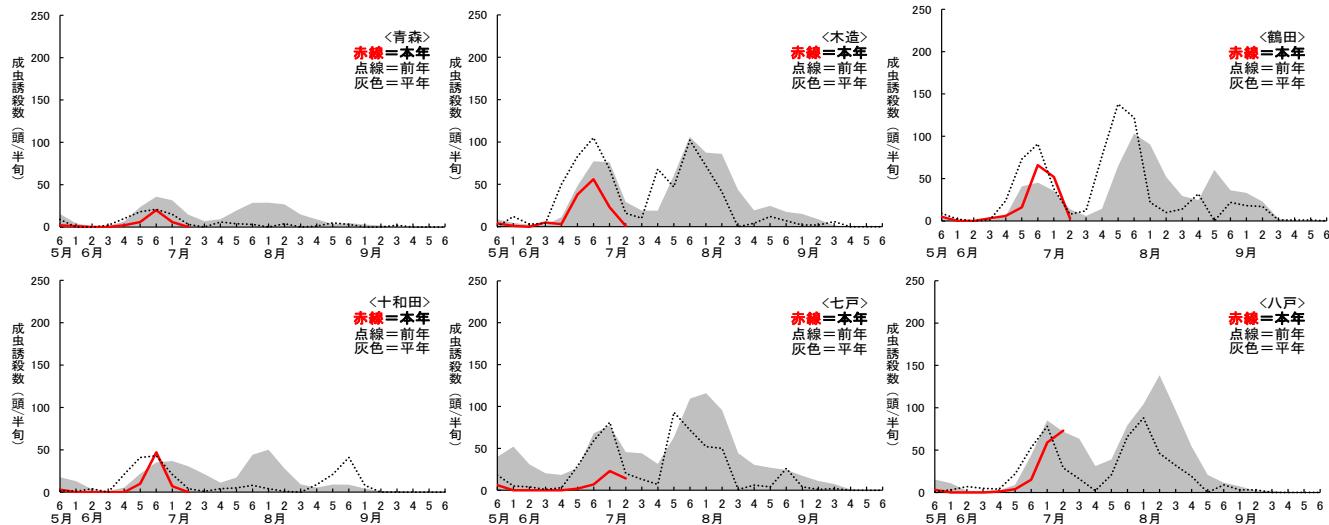


図6 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数